

転学部(科)届

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり転学部(科)しましたので、引続き奨学金給付の継続をお願いします。
なお、確認書及び日本学生支援機構に関する省令等の規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

届出年月日	西暦 20 年 月 日
-------	-------------

奨学生番号	5 2 0
-------	-------

※貸与奨学金は別途、それぞれの奨学生番号ごとに様式22の提出が必要

学校名	
-----	--

生年月日	西暦 年 月 日	年齢	満 歳
フリガナ			
氏名 (自署)			

■新旧学籍情報→学籍の実態に合わせて記入（変更の承認日ではありません）

	学部・学科・コース名	全定通	学籍番号	標準 修業年限	卒業予定期 (西暦)	転学部(科)年月日	学年	学校記入	
								区分	学部学科コード
旧		☐ 昼間 ☐ 夜間 ☐ 通信		年 20 年 月 20 年 月 日	まで在籍	年次			
新		☐ 昼間 ☐ 夜間 ☐ 通信		年 20 年 月 20 年 月 日	から在籍	年次			

機構使用欄：

始期

※満期予定者が「転学部(科)届」承認により給付終期が翌年度以降に延長となる場合は、生計維持者情報及び資産情報等の報告が必要となることがあります。
詳細は学校に確認してください。

■転学部(科)に伴う通学形態の変更がある場合

☐ 自宅→自宅外	給付様式35（及び自宅外証明書類）を本届出にホチキス留めして異動・補導係に提出
☐ 自宅外→自宅	給付様式2-1を本届出にホチキス留めして提出

■【該当を☑で選択】学校記入欄

転学部(科)前の課程	☐	修了していない
転学部(科)後のカリキュラム	☐	転学部(科)前と同一カリキュラムではない
私立学校のみ	☐	転学部(科)により理工農系学部(学科)該当⇔非該当に変更が生じる

※転学部(科)前の課程を修了している場合は奨学金を継続できません。

※転学部(科)前後で同一カリキュラムを繰り返す場合は奨学金を継続できません。

-----【学校の証明】上記記載のとおり相違ないことを証明します。-----

証明日	20 年 月 日
学校名	国立大学法人 京都大学
証明者(※)	

電話番号（担当者名）	
075 - 753 - 2535	()
学校番号・校舎区分	106002 -

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。